議会だより しすい

編集・発行/酒々井町議会
〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11　☎043-382-2331(直通)

No.221
令和8（2026）年11月13日発行



写真／令和8年10月27日
子育て支援センターあいあい
親子ふれあい遊び「パラバルーン」

議会HPは
こちらから
Check!

9月定例会
議員報酬改正・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
令和7年度決算及び議案審議等・・・・・・P3～P7
委員会・本会議での審議結果・・・・・・・・・・P8～P10
一般質問 議員7人が町政を問う・・・・・・・・・・・P11～P15
8月臨時会
スロー・フォー・キッズ宣言予算等可決・・・・・・・・P15
裏表紙
虹の皆さんに聞きました・・・・・・・・・・・・・・・・P16



9月定例会

議会議員の報酬増額改定

酒々井町議会議員の報酬額の改定

役　職		改正前報酬額	改正後報酬額
議　長	月額	350,000円	370,000円
副議長	月額	285,000円	305,000円
委員長	月額	275,000円	295,000円
議　員	月額	265,000円	285,000円

※議長、副議長、委員長の報酬額は、議員報酬（285,000円）に役職加算を加えた額になります
※改正後の報酬額は次期任期日（令和9年4月30日）から適用されます

議案第18号
議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

町議会では、令和7年10月2日付で、町長に対し、現行の議員報酬額26万5千円を30万程度に見直しを求める要望書を提出し、さらに今年5月14日付けで、議員報酬の適正な改正に向けて特別職報酬等審議会への諮問を求める要望書を提出しました。特別職報酬等審議会では、3回の審議を経て、議員報酬が30年以上の長期間にわたり据え置かれていること、その間の物価上昇や議員活動に必要な経費を報酬から負担している実態等を勘案し、現行の月額報酬26万5千円に2万円の範囲内で増額改定する必要性を認めるとともに、増額に当たっては、議員による町民への十分な説明、議員定数の継続的な検討などの答申を受けたことから、町議会では、報酬額を28万5千円を上限とする範囲内での改定を全会一致で合意し、増額改定する改正条例の提出を求める要望書を9月16日付けで町長へ提出しました。これを受け町長は、議会の合意を尊重し、報酬を28万5千円に増額するために本条例が提出されたもの。

《賛成多数で可決》

討論

反　対

議案第18号
サラリーマン、農家、事業者も暮らしが大変
議員報酬引き上げ反対
竹尾　忠雄　議員

サラリーマンの給料が上がったのは一部の企業だけで、多くのサラリーマンは給料が上がらず物価高騰で暮らしが大変な状況にある。農家も米価暴落で再生産が出来ない状況であり、台風、長雨で農産物も収穫できない状況である。農家の暮らしも大変であり議員報酬引き上げは町民の理解が得られない。

賛　成

議案第18号
議員のなり手不足解消のために、我々議員から発議したもの
白井　則邦　議員

今回の議案は、議会改革の中で、議員のなり手不足解消のために、議員報酬の改定が必要だと考え、我々議員から発議したもの。議員の要望を受けた町が、しっかり協議し、今回ご提案頂いた。議員として、このようなプロセスを大事にすべきである。

確かに国民生活は苦しい状況にあり、報酬改定は理解が得られにくい。その一方、今回のような災害対応、このような時に、公務が大事だと伝えることも我々の使命である。長く続く公務員バッシングにより、公務員の定数が減らされ、給料も上がらない。そういう中で、我々議員が、報酬をなぜ上げるのかを住民から問われることで、我々が矢面に立って、公務の大切さをしっかり伝えていく。それが我々議員の役目だと思い賛成する。

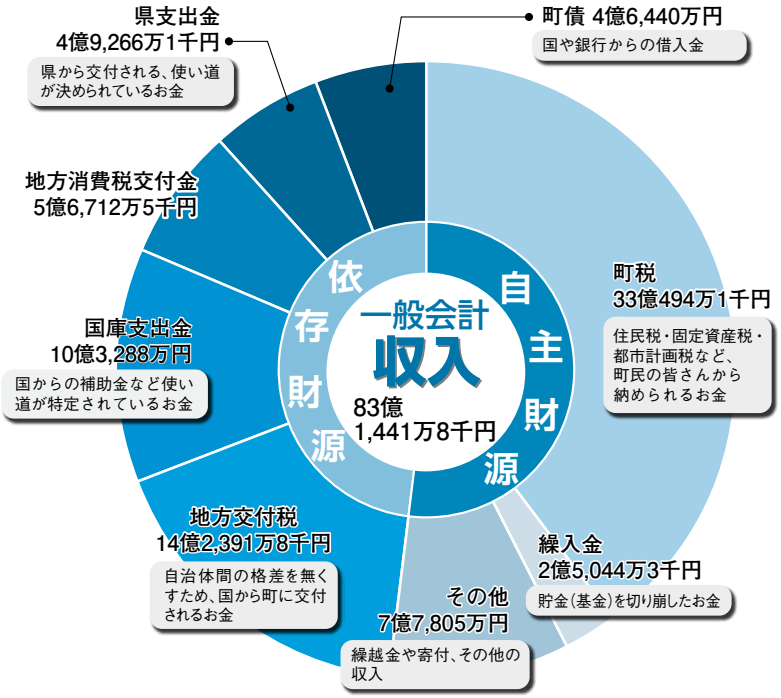
令和7年度決算認定

町民の暮らしを守る

「福祉・子育て・教育環境の充実」

9月定例会

令和7年度決算



依存財源：39億8,098万4千円（47.9％）　**自主財源：43億3,343万4千円（52.1％）**

令和7年度歳入（収入）の概要

▶**町　　税**…最低賃金の増加等により個人町民税が増加したことにより、前年度比1億4,322万9千円の**増額**

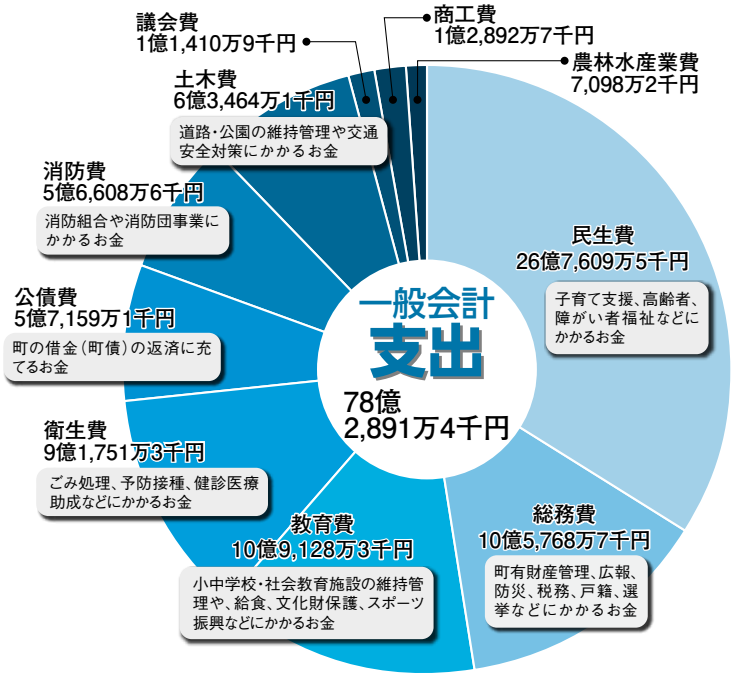
▶**地方交付税**…前年度比3,791万8千円の**減額**

▶**国庫支出金**…前年度比1,753万4千円の**増額**

▶**県支出金**…前年度比6,338万円の**増額**

▶**町　　債**…前年度比2億2,680万円の**増額**

▶**繰　入　金**…前年度比4,052万9千円の**増額**



令和7年度各会計決算については、議員6名による「決算審査特別委員会」が3日間にわたり開催され、執行部からの詳細な説明を受けるとともに、厳正な審査を行いました。

本会議では、決算審査特別委員会の審査結果報告を受け、審議の結果、各会計決算はいずれも原案のとおり認定されました。

決算特別委員会での意見・要望事項

【決算審査特別委員会】
委　員　長：白井　則邦
副委員長：地福　美枝子
委　員：江澤　眞一／酒瀬川　芳子／小早稲　美穂／岡野　義広

一般会計

●戸籍証明書や住民票などの発行手数料の支払いは現金対応のみとなっているが、キャッシュレス決済を導入することにより、利用者の利便性向上や業務の効率化などが期待できることから、早期の導入に努められたい。

●ふるさと納税により、本来町に入るべき税収が流出している状況を踏まえ、これ以上の税収流出を抑制するためにも、実績のあるコンサルティング事業者への委託を活用し、町ふるさと産品のブランディングや新商品の開発などを進め、さらに魅力ある返礼品の創出に努められたい。

●健康推進員は、行政と町民のパイプ役として健康の保持増進、情報提供、相談業務など、多岐にわたる活動を通じて、町民の福祉の向上に寄与されている。若い世代の方にも積極的に就任してもらえるよう、より一層の取り組みに努められたい。

●在宅で１年間、原則介護保険サービスを利用していない要介護者を介護する家族に対し、家族介護慰労金（年間 10 万円）を支給しているが、更なる介護者の負担軽減につながるよう、慰労金の増額も含め、制度設計について検討されたい。

●中央公民館及びプリミエール酒々井等の貸館については、それぞれ申請期限が規則等で定められているが、予約状況に空きがある場合には、利用者の利便性向上につながる柔軟な運用を検討されたい。

●町管理の防犯街灯等の LED 化が進められ、光熱費等の削減が期待されるが、その削減効果が継続して得られるよう、適切なメンテナンスにも取り組まれたい。

●中川調節池整備事業や馬橋川沿岸盛土対策については、早期実施に努められ、有効な治水対策を着実に進められたい。

●厳しい財政状況を鑑み、予算の効率的な執行を行うためにも、増員も含め、事業量に見合った適材適所の人材配置を検討されたい。

●予備費の活用については、予測困難性、緊急性、補正予算の必要性等を明確にするとともに、安易な不足補填として運用することは避けるべきである。また、同一事業への充用が繰り返される場合には、原因を検証し、補正予算への切り替えや、次年度への反映を徹底するよう求める。





町から詳細な説明を受けて、3日間にわたり開催された決算審査特別委員会

令和７年度決算に関する討論

討論

反　対

議案第５号
物価高で疲弊した町民の暮らしに応える独自の施策を

地福　美枝子　議員

財政難で、どのように町民に応えていくか努力をされていることは理解している。しかし続く大変な物価高で町民の暮らしをどう支えるかの独自施策が少ないのではないか。

一般会計について、ふれ愛タクシーの充実の要求、墨古沢遺跡予算の見直し、補聴器公的補助が実施されたことは評価するが、額があまりにも少ないこと、総合公園再整備にあたっては、まずは町民の声を聞くことではないか。

国民健康保険特別会計について、保険料が高くなっている。県はいずれ統一保険料にするとしているが中止を求める。介護保険や後期高齢者医療の特別会計も利用する立場に立ち、仕組みそのものを変えるべきだと思う。よって残念ながら令和7年度決算に反対する。

賛　成

議案第５号
限られた財源を効果的・効率的に配分し、堅実な財政運営を行った

岡野　義広　議員

本決算の対象となった年度は、依然として先行き不透明な経済情勢や物価高騰が続くなか、町民生活の安定と地域経済の維持、そして本町の持続可能な発展という難しい舵取りを迫られた一年であった。

このような厳しい財政環境にあって、町長をはじめとする執行部では、総合計画に掲げられた諸施策の着実な推進に向け、限られた財源を効果的かつ効率的に配分し、極めて堅実な財政運営を行った。

本一般会計決算を精査すると、賛成すべき主な理由は次の三点に集約される。

第一に、町民の命と暮らしを守る「福祉・子育て・教育環境の充実」、第二に、防災・減災および「安全・安心なまちづくり」への着実な投資、第三に、自主財源の確保と「健全財政の維持」への努力である。

注目される当町の主権者教育
白井市議会来庁



8月13日に、白井市議会総務教育常任委員会が視察のため来庁されました。

視察では、主権者教育の取り組みについて説明を行い、若い世代が政治や選挙への関心を高め、自ら考え、主体的に社会に参画する力を育むための取り組みについて意見交換を行いました。

主権者教育は、将来を担う子どもたちや若者が、社会の一員として政治や地域の課題に関心を持ち、自らの意思で判断し、行動する力を身につけるために重要なものです。

今回の視察を通じて、主権者教育の意義や今後の取り組みについてお互いの理解を深める有意義な機会となりました。

9月定例会 議案審議

物価高騰対策支援事業可決

「地産地消応援商品券配布事業」「水道料金負担金免除事業」「上水道未給水世帯支援給付金」「しすい学びの泉ギフト配布事業」

9月定例会概要

9月定例会は、9月1日から9月29日までの29日間の会期で開催され、町長から提案された議案19件と、議員から提案された発議案1件について審議を行いました。審議の結果、いずれも原案のとおり可決・認定・同意しました。

また、町長から「新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について」「佐倉警察署管内における見守り活動に関する協定の締結について」や「台風15号、令和8年8月千葉豪雨による被害状況等について」の行政報告が行われました。

一般質問は、7名の議員が2日間にわたり行い、防災対策や総合公園再整備、子育て支援など、町政全般について質問しました。



議案審議

9月定例会で審議された議案の中から、注目議案をご紹介します。（審議結果は9頁～10頁に掲載）

議案第1号 議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例を制定

町村の選挙における立候補に係る環境改善を図るため、令和2年12月に公職選挙法が改正され、選挙公営の対象が市と同様のものに拡大され、当町においては、現在この法改正に伴う選挙公営制度が整備されていないことから、町議会議員及び酒々井町長の選挙における公費負担を実施するため、新たに本条例を制定するもの。

《賛成全員で可決》

議案第8号 一般会計を増額補正

今回の補正は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し水道料金負担金軽減事業の延長、地産地消応援商品券配布事業など、また、町道02－012号線付帯工事、令和7年度決算の確定に伴う各種基金はの積立金、人事異動に伴う人件費等として、歳入歳出それぞれ1億8282万4千円増額し、補正後の予算を78億629万7千円とするもの。

《賛成全員で可決》

議案第13号 財産の取得について

令和8年度コミュニティ助成事業助成金を活用し、年齢や身体の状況等に関わらず、誰もが楽しく安心して利用できるユニバーサルデザインに配慮したインクルーシブの複合遊具を購入し、子育て支援センターあいあいの園庭に設置すべく、入札を行ったところ有限会社土屋商店が落札し、同社と877万6900円で仮契約をしたので、規定により、議決を求めるもの。

《賛成全員で可決》

議案第14号 教育委員会委員に遠藤氏の任命を同意

教育委員会委員の村重浩二氏の任期満了の退任に伴い、後任として遠藤茂志氏を任命するため議会の同意を求めるもの。

《賛成全員で同意》



遠藤（えんどう）　茂志（しげし）　氏

議案第15号 教育委員会委員に石井氏の任命を同意

教育委員会委員の河端孝順氏の任期満了の退任に伴い、後任として石井雄氏を任命するため議会の同意を求めるもの。

《賛成全員で同意》



石井（いしい）　雄（たけし）　氏

議案第19号 工事請負契約の締結

尾上・飯積地先で現在実施中の町道02－012号線飯積橋架設工事に係る「胸壁打設工事」について、令和8年9月17日付で随意契約により有村建設株式会社と、6012万6千円で仮契約を締結したので規定により、議決を求めるもの。

《賛成多数で可決》

討論

賛　成

議案第8、11、13号 全ての子ども達の遊びの場、物価高騰対策としての水道料金免除を評価

小早稲　美穂　議員

一つ目は、議案第8号令和8年度酒々井町一般会計補正予算（第3号）と議案第11号令和8年度酒々井町水道事業会計補正予算（第2号）について、今回は物価高騰対応重点支援地方創生交付金事業として4つの事業が計上されている。6月定例会で上水道の8月検針分・9月検針分のそれぞれ2か月分について、基本料金と従量料金の見込み総額6500万円の全額免除

の議案を可決し水道料金の減免を行っている最中だが、今回、国の物価高騰等対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、官公署等の施設を除く全ての利用者を対象に来る10月検針分・11月検針分のそれぞれ2か月分について、基本料金と従量料金の見込み総額約6200万円の全額免除を実施するもの。また、上水道未給水世帯支援給付金として、1世帯5000円を支給することとなり、対象の方々には、是非、広報等をご覧いただき申請漏れの無いようお願いしたい。この2事業にて、町内ほとんどの方に支援が行き渡るのではないかと思う。上水道給水世帯だけではなく、未給水世帯の方々にも少しでも生活の一助となり、気持ちにゆとりが出ることを期待する。

2つ目は、議案第13号財産の取得について、子育て支援センターあいあいへ全ての子どもが遊べるインクルーシブなユニバーサルデザイン遊具を整備するもの。障害のある子もない子もみんな楽しく、太陽の下で体を動かして元気に大きな声を出して遊んでいただきたい。

物価高騰対策としての4つの事業と財産取得により、子どもたちの元気いっぱいな姿が見られることを楽しみに、町民皆様の健康そして町民一人一人が笑顔で前向きに安全・安心な生活を送れるように願い賛成をする。

賛　成

議案第19号 飯積橋の早期完成を目指し

小早稲　美穂　議員

議案第19号工事請負契約の飯積橋の胸壁打設工事について、架台が内側に寄ってしまった事で、対策としてこの胸壁打設工事を検討し、数ある工法の中からコスト面そして工程面、そういったものを全て考慮して、安価で早期にできる工事を選んでいただいたもの。

他の工法であると更にコストもかかってしまい、また工程もかかってしまう。そういった中で選んでいただいたこの胸壁打設なので、私は元々工事屋という事もあるので賛成をする。

報　告

報告第1号 一般会計予算継続費精算報告書を議会に報告

令和5年度から令和7年度までの継続事業として実施した「墨古沢遺跡保存整備事業」及び令和6年度から令和7年度までの継続事業として実施した「保健センター大規模改修事業」が終了したことから、規定により、議会に報告するもの。

報告第2号 財政健全化判断比率及び資金不足比率を議会に報告

令和7年度決算に基づく、財政健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の意見を付けて議会に報告するもの。

内容は、一般会計と公営事業会計を含む全会計で、赤字額及び資金不足額は無く、早期健全化の基準値を大きく下回っていることから、健全段階にあるもの。

発議案

発議案第1号 国が主食である米の価格と需給に責任を持ち、国民への安定供給を支えるのに十分な備蓄を行うことを求める意見書の提出

米の価格は、まだ高い水準にあり、家計を圧迫しない水準に落ち着かせることが求められている。また、米農家の再生産維持と両立させるためには、農家の販売価格が生産コストを下回った場合、差額を政府が補填する事が不可欠である。農林水産大臣は政府備蓄米の買い戻しを行うと発表したが令和7年度に買い入れ予定だった21万トンが対象である。JA概算金額は、前年度比4割減の価格に農家は心が折れている。生産資材が高騰し、今の米価では営農を継続することはできない。米価暴落が放置されれば、離農に拍車がかかり、米すら自給できなくなる。消費者の米価対策は、別立ての物価高騰対策として行うべきであり、農家に犠牲を押しつけることは許されない。よって、国に対し、放出した備蓄米全量（59万トン）と25年買い入れ予定だった21万トン、合計80万トンの買い入れを強く求めるもの。

《賛成多数で可決》

提出者　竹尾　忠雄　議員
賛成者　白井　則邦　議員
　　川島　邦彦　議員
　　地福美枝子　議員
　　木内　信子　議員

討　論

反　対

発議案第1号 事実と感想が混ざっているため

小坂　和也　議員

農家が大変だとよくニュースを見かけるので、主旨としては理解できる。

国としては対策を打っているが結果として、新米流通の開始まで買い戻しができていないという実態であり、事実と感想が混ざっているところが散見される。整理して事実ベースで提出するべきだと思い反対する。

賛　成

発議案第1号 農家の気持ちを萎えさせないため

白井　則邦　議員

米は主食であり、日本の文化、日本の命を預かる農作物である。しかし、米の価格、需要を、政府が市場に任せ、コントロールして来なかった。また、農家への生活保障を怠っていた。そのつけが回ってきた。備蓄米の買い入れは、国民の命を守り、農業を守るんだというアピールであるとともに、農家の気持ちを萎えさせないためにも必要である。

各常任委員会での審査結果

◎…委員長　○…副委員長

総務常任委員会

■総務課、企画財政課、税務住民課、くらし安全協働課、会計室、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、その他の事務についての審査を担当

委員　◎小早稲／○白井　髙﨑／大石　綿貫

	件　名（件名は一部省略）	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第１号	酒々井町議会議員及び酒々井町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	4	0	原案可決
議案第２号	地方自治法の一部を改正する法律及び地方自治法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	4	0	原案可決
議案第３号	酒々井町行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	3	1	原案可決
議案第８号	令和８年度酒々井町一般会計補正予算（第３号） ※委員会担当分野	4	0	原案可決

教育民生常任委員会

■健康福祉課、教育委員会についての審査を担当

委員　◎酒瀬川／○白井　地福／川島／木内／小坂

	件　名（件名は一部省略）	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第８号	令和８年度酒々井町一般会計補正予算（第３号） ※委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第９号	令和８年度酒々井町介護保険特別会計補正予算（第２号）	5	0	原案可決
議案第 10 号	令和８年度酒々井町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	5	0	原案可決
議案第 11 号	財産の取得について	5	0	原案可決

経済建設常任委員会

■経済環境課、まちづくり課、上下水道課、文化観光課、農業委員会についての審査を担当

委員　◎江澤／○竹尾　齊藤／綿貫　岡野

	件　名（件名は一部省略）	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第４号	酒々井町同和対策中小企業振興資金利子補給条例を廃止する条例の制定について	4	0	原案可決
議案第８号	令和８年度酒々井町一般会計補正予算（第３号） ※委員会担当分野	2	2	原案可決 （委員長採決）
議案第 11 号	令和８年度酒々井町水道事業会計補正予算（第２号）	4	0	原案可決
議案第 12 号	令和８年度酒々井町下水道事業会計補正予算（第２号）	4	0	原案可決

本会議での議決結果

賛成･･･○　　反対･･･×　　（議長は採決に加わりません）

議案番号	９月定例会 件名と主な内容 （件名は一部省略）	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		採決結果	小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白井	大石	酒瀬川	欠員	欠員	川島	齊藤議長	竹尾	地福	江澤	髙崎
〈 条例の制定 〉																		
1	酒々井町議会議員及び酒々井町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について ［掲載：６ページ］	可　決 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
2	地方自治法の一部を改正する法律及び地方自治法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について …地方自治法の一部を改正する法律及び地方自治法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、当該条文を引用する関係条例に条ずれが生じるため改正を行うもの	可　決 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
3	酒々井町行政組織条例の一部を改正する条例の制定について …令和９年度から第６次酒々井町総合計画後期基本計画がスタートするにあたり、町長の施策として掲げる施策を着実に遂行できる組織体制とするため、「酒々井町行政組織条例」を改正し、10月１日から施行しようとするもの	可　決 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
4	酒々井町同和対策中小企業振興資金利子補給条例を廃止する条例の制定について …地域改善対策特別措置法の失効に伴い、本条例の適用対象となる者が存在しなくなったため、本条例を廃止しようとするもの	可　決 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
〈 令和７年度決算認定 〉																		
5	令和７年度酒々井町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について …各会計の令和７年度歳入歳出決算を監査委員の意見を付して認定するもの［掲載：５ページ］	認　定 賛 11・否 2	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	×	×	○	○
6	令和７年度酒々井町水道事業会計決算の認定について …水道事業会計の令和７年度歳入歳出決算を監査委員の意見を付して認定するもの	認　定 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
7	令和７年度酒々井町下水道事業会計決算の認定について …下水道事業会計の令和７年度歳入歳出決算を監査委員の意見を付して認定するもの	認　定 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
〈 令和８年度補正予算 〉																		
8	令和８年度酒々井町一般会計補正予算（第３号） ［掲載：６ページ］	可　決 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
9	令和８年度酒々井町介護保険特別会計補正予算（第２号） …令和7年度決算の確定等に伴うものを補正するもので、6,800万4千円を増額し、補正後の予算額を20億3,976万円とするもの	可　決 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
10	令和８年度酒々井町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号） …令和7年度決算の確定等に伴うものを補正するもので、237万7千円を増額し、補正後の予算額を5億542万5千円とするもの	可　決 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○

本会議での議決結果

賛成･･･○　　反対･･･×　　（議長は採決に加わりません）

議案番号	９月定例会 件名と主な内容 （件名は一部省略）	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		採決結果	小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白井	大石	酒瀬川	欠員	欠員	川島	齊藤議長	竹尾	地福	江澤	髙崎
11	令和８年度酒々井町水道事業会計補正予算（第２号） …収益的収入を72万4千円を増額し、5億3,847万1千円に、収益的支出を368万１千円増額し、５億966万１千円に、資本的支出を2万円減額して4億3,165万円とするもの	可　決 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
12	令和８年度酒々井町下水道事業会計補正予算（第２号） …収益的支出を811万5千円を増額し、5億2,626万1千円に、資本的支出を39万4千円減額して3億2,300万2千円とするもの	可　決 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
〈 財産の取得 〉																		
13	財産の取得について [掲載：６ページ]	可　決 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
〈 教育委員会委員の任命 〉																		
14	酒々井町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（遠藤　茂志氏） [掲載：６ページ]	同　意 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
15	酒々井町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（石井　雄氏） [掲載：６ページ]	同　意 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
〈 追加議案 〉																		
16	令和８年度酒々井町一般会計補正予算（第４号） …令和８年８月千葉県豪雨の災害対応に伴い、災害用備蓄食料の補充及び災害用毛布のリパック委託業務に係る経費を計上する。歳入では、歳出に伴う財政調整基金繰入金の増額補正を行うもの	可　決 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
17	町道路線の廃止及び変更について …道路法第10条第１項の規定により廃止及び変更する路線は、上岩橋地先において、京成電鉄株式会社が事業を進めている宗吾車両基地拡充計画の事業用地の一部となる、廃止２路線、変更１路線であり、同法第10条第３項の規定により、議決を求めるもの	可　決 賛 13・否 0	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	○
18	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について [掲載：２ページ]	可　決 賛 11・否 2	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	×	×	○	○
19	工事請負契約の締結について [掲載：６ページ]	可　決 賛 11・否 2	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	—	×	×	○	○
〈 発議案 〉 議員提出による議案																		
1	国が主食である米の価格と需給に責任を持ち、国民への安定供給を支えるのに十分な備蓄を行うことを求める意見書の提出について [掲載：７ページ]	可　決 賛 7・否 6	×	○	×	○	×	○	×	○	—	—	○	—	○	○	×	×

一般質問

ここが聞きたい／町の考えを問う

1 (P12)	岡野　義広 議員	▸防災対策の強化 ▸子どもたちと交通弱者のための交通安全対策の推進 ▸自転車の安全利用促進と交通安全対策 ▸道路交通 ▸ふるさとまつりの魅力づくり・活性化
2 (P12)	江澤　眞一 議員	▸子育て支援事業 ▸酒々井町保育園運営事業 ▸乳児等通園支援事業等
3 (P13)	酒瀬川 芳子 議員	▸避難所となる学校体育館のより安全安心な施設環境の維持確保 ▸県道宗吾酒々井線の拡幅整備の進捗状況 ▸酒々井町指定難病見舞金
4 (P13)	地福 美枝子 議員	▸酒々井総合公園再整備 ▸８月 13 日の豪雨災害 ▸町の保育園の状況と保育料無償化 ▸JR 酒々井駅の整備
5 (P14)	白井　則邦 議員	▸不登校、アレルギーで給食を食べられない児童や長期休暇中の児童の食費支援 ▸墨工業団地 ▸酒々井総合公園再整備計画案及びパーク PFI・スモールコンセッション導入可能性調査
6 (P14)	小坂　和也 議員	▸持続可能な地域公共交通の構築
7 (P15)	竹尾　忠雄 議員	▸道路問題 ▸中川調節池 ▸墨工業団地 ▸生産者米価

※各議員の質問事項については、本誌に掲載してある質問を**ゴシック体**で表記しています。

一般質問とは、議員が町の事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を町長などの執行機関に求めることです。

９月定例会では、９月９日、10日の２日間で、７名の議員が登壇し、町政について質問しました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容を、質問順にお知らせします。



議会の様子（録画）を公開しています

議員下のＱＲコードを読み取ると、各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

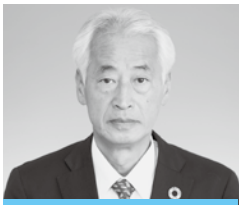
本会議録画中継はこちらから➡

※今回の令和８年第５回定例会の会議録（11 月下旬発行予定）は、インターネットまたは図書館でご覧いただけます。



問 災害発生時における避難所運営についての認識は

答 町民の命を守る・命をつなぐ場所であり、避難所運営は極めて重要



岡野 義広議員

問 災害発生時における避難所運営について、町長の認識を伺う。

町長 「町民の命を守る」「命をつなぐ場所」で、極めて重要であり、様々な要望に対応しなければならない。長期化する場合、町職員から避難者による自主運営に移行できるよう、昨年度より住民を含めた訓練を実施している。

道路交通対策に向けた実態把握を

問 国道51号・296号から中央台・東酒々井地区などの生活道路へ流入する車両の増加について、町は実態を把握しているのか。

まちづくり課長 車両台数の把握は行えるが、交通経路を確認することはできないため、把握できていない。

問 生活道路への流入を防ぐため、都市計画道路「中央台・尾上線」の整備をすべきと考えるが、先ずは交通量調査を実施できないか。

町長 交通量等の実態把握する調査を実施し、結果を踏まえて幹線道路の必要性等を検討していく。

問 県道宗吾酒々井線で、通行許可がないとみられる大型貨物自動車の走行実態を町は把握しているか。

まちづくり課長 町で通行許可の有無を断定することは困難である。今後、佐倉警察署と連携し、取り締まり等の必要な対応を協議していく。

ふるさとまつりの活性化を

問 ふるさとまつりは、子どもたちの成長や地域の一体感醸成等に貴重な場と考えるが、町長の認識を伺う。

町長 ふるさとへの愛着や地域社会への一員としての意識を育む貴重な機会と考えている。そのため、子どもと出店団体とのつながりや交流ができる企画を検討している。

自転車の安全指導強化を

問 現行の小中学校における自転車の安全指導は、危険性の理解や技術習得に十分な時間と言えるのか。教育委員会の見解を伺う。

学校教育課長 全ての小中学校で交通安全教育の指導を行っており、今後も一層力を入れていくよう、各小中学校へ指導、助言をしていく。また、見守り等により、児童生徒の安全確保にも努めていく。

問 放課後児童クラブにおける物価高騰交付金の使い道は

答 保育料等の値上げを行うことなく、事業費に充当した



江澤 眞一議員

問 放課後児童クラブ4箇所の登録者数を伺う。

こども課長 8月1日現在、しすいっ子学童クラブが91名、大ちゃん学童クラブが50名、昭苑学童クラブが69名、BEAR BEE学童クラブが30名となっている。

問 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業の予算376万4千円の事業内容を伺う。

こども課長 酒々井小・大室台小ともに公設民営で業務委託しており、物価高騰等により保育料等の値上げを行うことなく事業継続ができるよう、当交付金を活用し、事業費に充当した。

保育園統合の考えは

問 中央保育園の設立年度と今年度の運営費と通園人数を伺う。

こども課長 昭和46年開園、令和8年度予算は7，398万5千円で、在籍園児は8月時点で48名となっている。

問 中央保育園の土地賃借料を伺う。

こども課長 令和8年度は、年額1227万5千円を支払っている。

問 中央保育園と岩橋保育園の統合について町の考えを伺う。

町長 中央保育園は老朽化しており、背後が崖地で危険でもある。早急に整備を進めなければならないが、2園の統合のみを前提とすることなく、民間事業者との連携を深め、多様な保育のあり方等、町全体で検討を進め、早急に方向性を見出していきたい。

問 中央保育園での災害対応を伺う。

こども課長 台風等、事前に予測可能な場合は、当初から中央公民館等で保育や閉園とし、保育中にレベル3以上の警報が発令された場合は保護者に園児の迎えをお願いしている。地震の場合は、安全な場所に避難すると共に、保護者へ状況の連絡等を行っている。

乳児等通園支援事業の利用状況は

問 乳児等通園支援事業の利用状況を伺う。また、子育て支援センターあいあいの利用状況と運営費を伺う。

こども課長 乳児等通園支援事業の8月時点での利用者は99名、登録者数は32名いる。あいあいは、昨年度延べ5859名利用され、令和8年度予算は2，246万1千円である。

問 避難所（学校体育館）でトイレが不足する場合は

答 校舎のトイレを使用することになるが、そのための自活体制が必要



酒瀬川 芳子議員

問 避難所で、一番に困る事はトイレの確保と環境機能の維持と聞いている。学校体育館のトイレが足りない場合の対応を伺う。また、不足する場合、校舎のトイレなども使用できるのか。

教育長 学校教育活動が行われている場合は、児童生徒用、避難者用などに分けて使用する必要があり、避難者用トイレは清掃等の管理については自活体制をつくっていただく必要がある。

問 近年の異常気象において度重なる酷暑に災害が起きた場合、学校の教室には冷房施設が整っているので、避難者の体調を最優先に考えて、教室などを使うことは想定されているのか。

教育長 あまり使用していない冷暖房の備わった教室があるので、体調が優れない方など、校長の承諾を得た上で、使っていただきたい。

問 8月の千葉豪雨の際、交通手段がストップしたため、帰宅困難者を避難所に誘導したとのことだが、「町民のための避難所」という概念が、「困っている全ての方々の避難所」になり、避難所のあり方を考えさせられた。避難所開設運営訓練の成果が生かされスムーズに対応できたのか。

くらし安全協働課長 経験したことがない帰宅困難者の対応であったが、訓練の成果が出ており、帰宅困難者からもお礼のお手紙を頂くなど、訓練どおりできたと認識している。

宗吾酒々井線拡幅整備の進捗状況は

問 800mの区間で事業化している県道宗吾酒々井線の拡幅整備は13年経過したが、工事が滞っている。進捗状況や今後の予定を伺う。

まちづくり課長 千葉県において約4割の用地を取得し、延べ310mの歩道整備が完了している。引き続き、まとまった用地が確保できた箇所から工事を進めていくと聞いている。

指定難病見舞金減額の理由は

問 町では令和8年4月から指定難病見舞金が大幅に減額されたが、減額の理由を伺う。

健康福祉課長 民生費は年々増え続けており、法律に基づくサービスは減額できないことから、町独自の指定難病見舞金事業等の見直しを行った。

問 公園再整備は計画を詳しく説明し、町民の意見を充分に聞くべき

答 アンケートで貴重なご意見を頂いた。今後の検討に生かしていく



地福 美枝子議員

総合公園の再整備にあたり、次の点を伺う。

問 スケジュール（案）のとおり、進めていくのか。

副町長 物価高騰の影響等により事業費がさらに大きく膨らむ見込みが示された。オブスタクルスポーツ設備についても、維持管理費等の検討を続ける必要があることから、一旦、再整備計画（案）を含めて再検討する。

問 町民からの意見収集は、どのように行われたのか。

企画財政課長 6月に「酒々井総合公園に関するアンケート」を行った。

問 アンケートに「指定管理者制度により、維持管理を民間に委託する」という設問をなぜ入れなかったのか。

企画財政課長 アンケートの設問は諸々検討し、今回の方式で実施した。

問 アンケート結果を、どのように受け止めているのか。

企画財政課長 公園に求める機能など、貴重なご意見をいただいた。意見を真摯に受け止め、今後の検討に生かしていきたい。

問 さらなる検討と町民への説明時期について伺う。

企画財政課長 個別の事業者への説明はしていないが、スポーツ協会等には説明はしている。

豪雨災害から得た教訓は

問 8月13日の豪雨災害から得た教訓は何か。

くらし安全協働課長 トイレ問題等はなかったが、多くの帰宅困難者が発生したことから、帰宅困難者の受け入れ体制について検討が必要と考えている。

保育料の完全無償化を

問 2つの保育園の在籍数を伺う。

こども課長 中央保育園が48名、岩橋保育園が114名在籍している。

問 保育料完全無償化に要する予算額と、実施について考えを伺う。

こども課長 概算で年間約4千万円となり、町の財政状況から、現状での実施は難しい。

問 給食費とおやつ代はいくらか。

こども課長 給食費は月5，800円で、そのうち1，600円が、おやつ代となっている。

問 不登校や夏休みなど、給食を食べられない児童への支援を

答 文部科学省からガイドラインが示されたので、検討したい



白井 則邦議員

問 学校給食が無償化されたが、不登校やアレルギーで給食を食べられない児童や、夏休みなど長期休暇中はひとり親家庭などでは給食がなくなることで家庭での食費負担が増える。児童への支援が届かないことになるが、現在の町の取り組みと今後の予定を伺う。

副町長 不登校やアレルギーで給食を食べられない児童への支援として、7月末に文部科学省からガイドラインが示されたことから、学校給食の委託先である富里市の対応を鑑みつつ、検討、早期の事業化をしたいと考えている。

健康福祉課長 町こども家庭センターでは、生活困窮の世帯に対し、保護者の要望を確認の上、夏期休暇中の食事支援をNPO法人と連携して実施した。



墨工業団地の開発条件の緩和を

問 墨工業団地は、長らく未利用土地が放置されたままである。開発条件の緩和は検討しているのか。

経済環境課長 現在の土地所有者が進めていた開発手続きによる規制を緩和することは難しいものと考えており、土地所有者側から別の業種での開発について相談を受けていないため、現時点では検討していない。

総合公園再整備にあたり認識を問う

問 オブスタクルスポーツ公認コースやドッグランを整備する総合公園の再整備計画（案）が示されたが、第1段階である本計画（案）では、財政負担を抑えるということは考えずに「オブスタクルスポーツといえば酒々井総合公園という認識の定着と継続的な集客の創出を図る」ことを目指すのか。

副町長 本年度、再整備の内容や事業費のさらなる精査を行っている中で、町がイメージする設備を考慮した結果、物価高騰などもあり、事業費が想定を大きく膨らむ見込みが示された。今後、事業化に向けて慎重に判断する必要があることから、一旦、再整備については再検討することとし、その結果については早い段階でお示しできたらと考えている。

問 ふれ愛タクシーの利用料金を見直す考えは

答 見直しの必要性はあると考えている



小坂 和也議員

問 持続可能な地域公共交通体系の構築を目指す観点から次の点を伺う。

ふれ愛タクシーの利用料金について、運行経費等の変化を踏まえた受益者負担と公費負担のバランスをどのように考えているか。また今後、利用料金を見直す考えはあるのか。

健康福祉課長 燃料費等が高騰し、利用料金の見直しは検討課題である。利用者に負担をかけないよう、国の交付金を活用することで利用料金は変更していない。必要な公費負担を明確にした上で、利用者の適切な負担について見直しの必要性はあると考えている。

問 町外医療機関等への利用需要が大きい場合、運行時間や予約方法等を工夫し、乗合率を高めることで運行効率を向上させる考えはあるのか。

健康福祉課長 1週間前から予約を受け付けており、オペレーターが可能な限り目的地までのルートを効率的に配車できるよう工夫し、できるだけ乗車定員になるよう人数や運行時間の調整を行っている。

問 町内・町外医療機関への通院、町内の買い物、駅への移動等、それぞれの移動需要に対して、ふれ愛タクシー、グリーンスローモビリティ、一般タクシーへの助成等、どの交通手段を活用することが合理的か検討しているのか。

町長 公共交通が運行している地域は既存の公共交通を利用するのが最善である。また、公共交通等がない地域については、ふれ愛タクシー等を利用していただいているが、今後の移動手段として、ふれ愛タクシーと併用してグリーンスローモビリティの導入も検討していきたい。

問 ふれ愛タクシーの存続・廃止の二択ではなく、町民の移動手段を確保する目的から、各交通手段の役割を整理し、限られた財源、車両、人的資源を最も合理的に活用する、持続可能な地域公共交通体系を構築する考えはあるのか。

企画財政課長 限られた財源の中で、合理性等と合わせ、町内外の民間活力や場合によっては、自治会などのご協力をいただきながら、持続可能な地域交通体系の構築を検討していきたい。

ことば グリーンスローモビリティとは、電動車で時速20km未満で公道を走る移動サービスです。
地域が抱える様々な交通課題の解決や低炭素型交通の確立が期待されています。

問 緊急車両の通れない町道の改良工事費　令和9年度予算化を

答 予算化できるよう内部で議論していく



竹尾 忠雄議員

問　下岩橋の緊急車両が通れない町道の改良工事費を令和9年度予算に計上すべきと思うが、町長の考えを伺う。

町長　令和9年度は予算化できるよう内部で議論していきたい。

問　中学生から、上岩橋上郷地区の通学路は「怖くて通れない」との訴えから16年が経過した。生徒が安全安心に通学できるよう早急に改修すべきと思うが、町長の考えを伺う。

町長　中川調節池の整備の際に道路拡幅等もあるので、それに併せて出来ればと考えている。

問　千葉豪雨の際、上岩橋大崎地区で車2台水没した、道路排水の改修を行う必要があると思うがいかがか。

まちづくり課長　財政状況等から早期事業化は難しい。新たに注意喚起の標識を設置するなど、対応を行っていく。

中川調節池効果の公表を

問　20年前に計画した際の中川調節池は「貯留水5万トン、事業費5億円」であった。現在、町は調節池の効果検証業務を委託したが、報告書の公表時期と委託費について伺う。

まちづくり課長　契約は令和8年11月30日までであり、契約金額は3，058万円となっている。

墨工業団地に企業の開業見通しは

問　墨工業団地の未利用地には雑草が繁茂し、近隣住民に迷惑をかけているが、町は地権者に指導しているのか。

経済環境課長　地元区長や町から依頼し、土地所有者が5月に一部除草、また、9月中に除草を行うと聞いている。

問　墨工業団地は、造成して30年経過するが、約半分の面積（6．2ｈａ）が未だに未利用地であるが、企業の開業見通しを伺う。

経済環境課長　設備投資に係る費用が大幅に増加していることから、企業側は市場動向等も踏まえながら、進出時期を慎重に見極めている状況にある。

生産者米価が大幅下落している

問　今年の米価（1俵）は1万2千円と大幅に下落した。生産者米価はいくら必要と町長は考えているのか。

町長　コスト指標として、1俵20，535円が示されているが、生産規模等、各農家のコストは一様ではない。

8月 臨時会

子どもたちの安全・安心のための スロー・フォー・キッズ宣言 予算を可決

令和8年8月4日に臨時会が開催され、町長から議案3件が提出され、審議の結果、すべての議案は全員賛成により、原案のとおり可決されました。

また、町長から、酒々井町「Ｓｌｏｗ ｆｏｒ Ｋｉｄｓ（スロー・フォー・キッズ）宣言」がされました。この宣言は、酒々井町のローカルルールとして、歩道やガードレールが整備されていない狭い道路で子どもたちの姿を見かけた際には、ドライバーの皆様に減速していただくよう、自主的な協力をお願いするものです。



議案第1号 酒々井町下水道条例の一部改正

令和7年7月1日付けで行った料金改定に伴う現行の運用と整合を図る必要のある規定があることから、条例の一部を改正するもの。

《賛成全員で可決》

議案第2号 地域創造発信拠点施設の設置等に関する条例の一部改正

地域創造発信拠点施設（まるごとしすい）が担う事業内容を整理し、その役割を明確化するにあたり「創業支援に関する事業」を削除するため、条例の一部を改正するもの。

《賛成全員で可決》

議案第3号 酒々井町一般会計補正予算（第2号）

酒々井町「Ｓｌｏｗ ｆｏｒ Ｋｉｄｓ（スロー・フォー・キッズ）宣言」に伴い、啓発に要する経費として、歳入歳出それぞれに149万5千円を増額し、歳入歳出予算の総額を76億2，347万3千円とするもの。

《賛成全員で可決》

虹の皆さんに聞きました

❶ 酒々井町はどんなところ？
❷ 活動の中でやりがいを感じることは？
❸ 町にどのようなことを期待しますか？



及川 廣子（おいかわ ひろこ） さん

❶長い時間を過ごし、これからもお世話になる程々便利で静か、ほっと出来る私の生きる町です。
❷お届けしたCDを町からのお知らせの情報源として活用いただき、少しでもお役に立てれば頑張った甲斐が有ります。
❸交通の便の良さ、住みやすさ等を最大限生かし、未来に明るさを、成長が実感できる様な町づくりをしてほしい。



松井 信子（まつい のぶこ） さん

❶きれいな水と空気、緑豊かな自然に満ちた町。歴史も古く駅も4駅。移動には便利な町です。
❷利用者さんへ声の広報を毎月お届けしています。「いつもありがとう」の一言をいただいた時やりがいを感じます。
❸若い世代の方がボランティア事業に関心を持てるような講座を。ふれあいタクシーは町民の足。更なる拡充を。



犬島 正子（いぬしま まさこ） さん

❶豊かな自然と歴史や文化が楽しめ、鉄道や道路成田空港へのアクセスが良い所です。
❷目による読書等の困難な人へのCD作り。文化祭の舞台発表により朗読奉仕の活動を知らせる事です。
❸小さな町ならではの、やりたい事が身近に出来る事なのであれだめこれだめでなく夢がかなうようにお願いね。



岩野 一夫（いわの かずお） さん

❶定年退職後「町デビュー」がしやすかった。色々なサークル・ボランティア参加出来る町
❷音訳活動しながら、朗読の楽しさや昔話・絵本の読み聞かせが勉強できる。声を出すことで健康生活にもプラス
❸企業誘致を積極的に進めて欲しい。老後が安心して過ごせる町、若い人が定住出来る仕事のある町。老若定住。

朗読奉仕グループ「虹」は、目の不自由な方や活字による読書が困難な方の為に、広報ニューしすい、議会だより、社協しすい等をCDに録音し、お届けしています。

12月定例会のお知らせ

次の定例会は、12月1日に開会する予定です。
会期の予定は、町ホームページでお知らせします。
詳細は、議会事務局にお問い合わせください。
☎（382）2331

編集にあたって

野球好きの私にとって、秋は寂しいシーズンオフ。でも「議会だよりしすい」は今号もプレーボール！
皆さんに楽しんでいただけたら、ナイスゲームです。

委員長　岡野 義広
副委員長　小坂 和也
委員　大石 法子
委員　小早稲 美穂
委員　木内 信子
委員　綿貫 薫